

# 光市記者発表資料

令和5年6月1日

件名	「未来のパパママ応援事業」の開催について
内容	<p>光市では、おっぱい都市宣言のまちとして、「みつめ だきしめ 語りあう」ことを通して、命の尊さを体感し、自分自身や他者への愛情を深め、感謝の気持ちを養うことを目的として、中学3年生を対象に「未来のパパママ応援事業（別紙）」を実施しています。今年度は、以下のとおり開催いたしますのでお知らせいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 行事名 「未来のパパママ応援事業」</li><li>2 日時及び講座名<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 令和5年6月8日（木）14：40～15：30 オリエンテーション・いのちの授業</li><li>(2) 令和5年6月15日（木）9：45～11：35 赤ちゃん講座</li><li>(3) 令和5年6月28日（水）10：45～11：35 赤ちゃんふれあい体験</li></ol></li><li>3 対象者 光市立光井中学校3年生（指定校）</li><li>4 会場 光市立光井中学校（光市光井七丁目18番1号）</li><li>5 内容<ol style="list-style-type: none"><li>(1) オリエンテーションは子ども家庭課職員による事業説明を行います。 いのちの授業は、産婦人科医師による講義（動画）を視聴します。</li><li>(2) 赤ちゃん講座は、妊婦体験（妊婦ジャケット）や赤ちゃんのお世話（赤ちゃん人形使用）などの体験学習をします。</li><li>(3) 赤ちゃんふれあい体験は、赤ちゃん親子が学校に出向き、中学生と言葉やふれあいを通して、世代間交流を行います。</li></ol></li><li>6 その他 ※感染症の流行状況により、赤ちゃんふれあい体験は急遽中止になることがあります。</li></ol>
問合せ	福祉保健部子ども家庭課子ども相談係 担当：岡村久美 TEL：0833-74-5910

# 未来のパパママ応援事業

## 実施の目的

- (1) 中学3年生を対象に赤ちゃんとのふれあいを通して、赤ちゃんのかわいらしさや命の不思議さ・尊さについて体感します。
- (2) 自分自身や他者への愛情を深めるとともに、自身を振り返り、感謝の気持ちを養います。
- (3) 次代を担う子どもたちが近い将来、結婚し親になることを肯定的に感じられるよう促します。

## 実施内容

### 学校の授業との連携

#### 第4回

##### 【園児との交流】

幼児とのコミュニケーションやふれあいの楽しさを体験



#### 第5回

##### 【体験の振り返り】

体験で得た成果の復習  
親から子どもへのメッセージ  
事後アンケート：生徒



#### 第1回

##### 【オリエンテーション・いのちの授業】

事業全体説明  
おっぱい都市宣言について  
生命の誕生・命の尊さを学習



## みつめ だきしめ かたりあう

～心温かい人が育つまち“ひかり”～

#### 第3回

##### 【赤ちゃんふれあい体験】

赤ちゃんを抱いたり、あやしたり、育児の楽しさ、大変さを体験  
保護者の方から育児の話を知



#### 第2回

##### 【赤ちゃん講座】

妊婦体験ジャケット  
赤ちゃん人形を使って赤ちゃんのお世話を体験  
たばこの害について学習



## 事業効果

- (1) 赤ちゃんに関する肯定的な気持ちが、**84.7%**から**87.0%**に増加
- (2) 私は「人から大切に思われている」と感じるがあると肯定的な気持ちが、**92.8%**から**94.8%**に増加
- (3) 親や家族に対する記述については、肯定的記述が増加し、否定的記述は減少 ※令和4年度実績より

### (感想 抜粋)

・「知識は財産になる」という言葉のとおり、知らないこと、普段知れないことを知る機会があるのはとてもありがたいことだなと思いました。将来経験する可能性があるものばかりで、命の始まりの尊さの中に少し怖さや不安があること、望んでも妊娠できない人や望まない妊娠をしてしまう人がいることなどを知ることができ、正しい知識を身につけて自分の将来を守る選択をしていけるようにしたいと思います。

・今までは、赤ちゃんも同じ人だから「少し優しく扱うだけでいいのでは」と思っていました。でも実際に体験したり話を聞いてみると、赤ちゃんのお世話はもちろん妊婦さんが一番大変そうだなと思いました。この経験を生かして、相手の気持ちに立って優しく接してみようと思いました。

・改めて命の尊さについて理解することができた。子どもを産み育てることは大変で、大きな責任を長い間負うことになる。今回その大変さを身近にリアルに感じる事ができた。家族にとって大切な「みつめ だきしめ かたりあう」これは、子がどんなに成長しても大切なことだと思う。特に「かたりあう」を今、大切な家族に普段は言いづらい「ありがとう」と言いたい。